

事務部会

研究主題 各校の実践に学び事務処理能力の向上を目指す

1 主題について

各校で取り組んでいる『日常業務』について、そこから互いに学び合うことで、今後の事務処理能力向上につなげる。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月10日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	11月13日	第2回総合研究会事務部会

3 研究内容

一人一研究

・期 日 平成26年11月13日（木） ・会 場 大館市立中央公民館

【主な協議内容】

- ・近年増えてきた教職員の再任用について、勤務条件や事務手続の具体的な説明があった。同一校での再任用であっても諸手当や保険料処理など異なる点が多く、確認が必要である。
- ・旅費計算においてはパック旅行による計算が認められているが、団体割引適用外の修学旅行旅費への活用など、費用節約の工夫が見られた。
- ・今年度からサービスの取り扱いが見直され、教育研究団体等の用務について、サービスが大きく変わった。特に中学校では、各種大会の引率・役員用務等の処理に苦慮しているようである。実態に合った対応が望まれる。
- ・学校施設・備品の維持管理について、子ども目線を取り入れた安全確認や、アフターケアを考えた業者との関係構築など、広い視野・様々な視点を持ってあたる必要がある。
- ・旅行命令や復命書の基準が各校で異なる現状にあるが、教員の負担軽減を考えながら、処理の仕方を明示する取組があった。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・様々な事例に触れることで、情報の共有と個々のスキルアップを図ることができた。

(2) 課題

- ・共同実施を踏まえ、各々が持っている情報を集約し、事務の平準化・判断の効率化に結びつけていく方策が必要である。



【協議の様子】